

盛岡峰南高等支援学校

研究テーマ

「新しい時代の「働く力」の組織的理解と育成・実践の充実～ 専門教科・寄宿舎生活を通じた取り組みから～」

1 令和4年度校内研究の概要

(1) 主題設定の理由

本校では、昨年度も同じ研究テーマで、研究を進めた。本校に求められているニーズを把握し、本校の「働く力」を明らかにした。

今年度は、明らかになった「働く力」の用語等について年度当初に共通理解し、この力の向上を目指していくことが重要と考え、昨年度の研究成果を踏まえながら、実践を行うという視点を大事にしていきたいと考えた。

(2) 研究の目的

各専門教科や寄宿舎において、確かな「働く力」を身につける生徒を育成するために、指導や支援の工夫を探る。

(3) 研究の内容

- ① 「働く力」について、どのような力を伸ばしていくかを各科内で確認し、授業実践を行う。
- ② 各専門教科の授業参観をとおして、教員同士が学び合うために授業研究会を実施する。
- ③ 研究の推進のために、共通の学習指導案の様式を利用する。
- ④ 「働く力」についての理解を深め、授業実践の一助とするために、研修、視察、先行事例についての情報を収集する。

(4) 令和4年度の実践

- 第1回全校研究会（4月）
 - ・前年度研究の成果と課題の確認。
 - ・令和4年度研究テーマについての確認及び方向性の検討。
- 第2回全校研究会（5月）
 - ・今年度研究の進め方について確認。
 - ・研究授業の目標設定及び授業研究会のもち方について提案。
 - ・研究授業指導案の様式についての確認。
- 第1回・第2回全校授業研究会（7月）
 - ・「働く力」を育成する授業に着目した学習指導案による研究授業及び授業研究会（加工生産Ⅲ、流通・サービスⅡ・Ⅲ）
- 第3回全校授業研究会（8月）
 - ・「働く力」を育成する授業に着目した学習指導案による研究授業及び授業研究会（農産技術Ⅱ・Ⅲ）

○学校視察（10、11月）

- ・埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園、茨城県立水戸高等特別支援学校
- ・宮城県立支援学校岩沼高等学園、山形県立上山高等養護学校

○第4回全校授業研究会（12月）

- ・「働く力」を育成する授業に着目した学習指導案による研究授業及び授業研究会（生活科学Ⅱ・Ⅲ）

○第1回全校研修会（12月）

- ・学校視察報告

○寄宿舎職員研修会（12月）

- ・「卒業生の様子を見て感じる～寄宿舎で身に付けてほしい力～」
- ・「正しい応急処置の方法～新しい医療常識～」

○第4回全校研究会（2月）

- ・今年度の実践研究まとめ

○第5回全校研究会・第2回研修報告会（3月）

2 寄宿舎研究

(1) 概要

安定した就労生活を送るためには、身体と心が健康でなければならないことを昨年度確認した。今年度は、生徒の心身の健康管理に向けて、棟ごとに生徒の課題を明らかにし、生徒が自分の心身の健康について前向きに取り組めるよう実践を行う。

(2) 実践（6月～12月）

棟ごとにチェックシートで、生徒の健康面の課題を明らかにし、共有する。取り組み内容を検討し実践を行う。

3 講演会

演 題：「スマートフォン、SNSトラブルを避けるために～様々な事例から～」

講 師：岩手県立療育センター相談支援部 岩手県発達障がい者センターウィズ 発達障がい支援係長 長 葎 康紀 氏

期 日：令和4年8月3日（水）

会 場：盛岡峰南高等支援学校
会議室・音楽室

参加者：52名（新型コロナウイルス感染症対策のため、対象を校内職員に限定して実施）

4 刊行物

令和4年度 研究集録（令和5年3月発行予定）